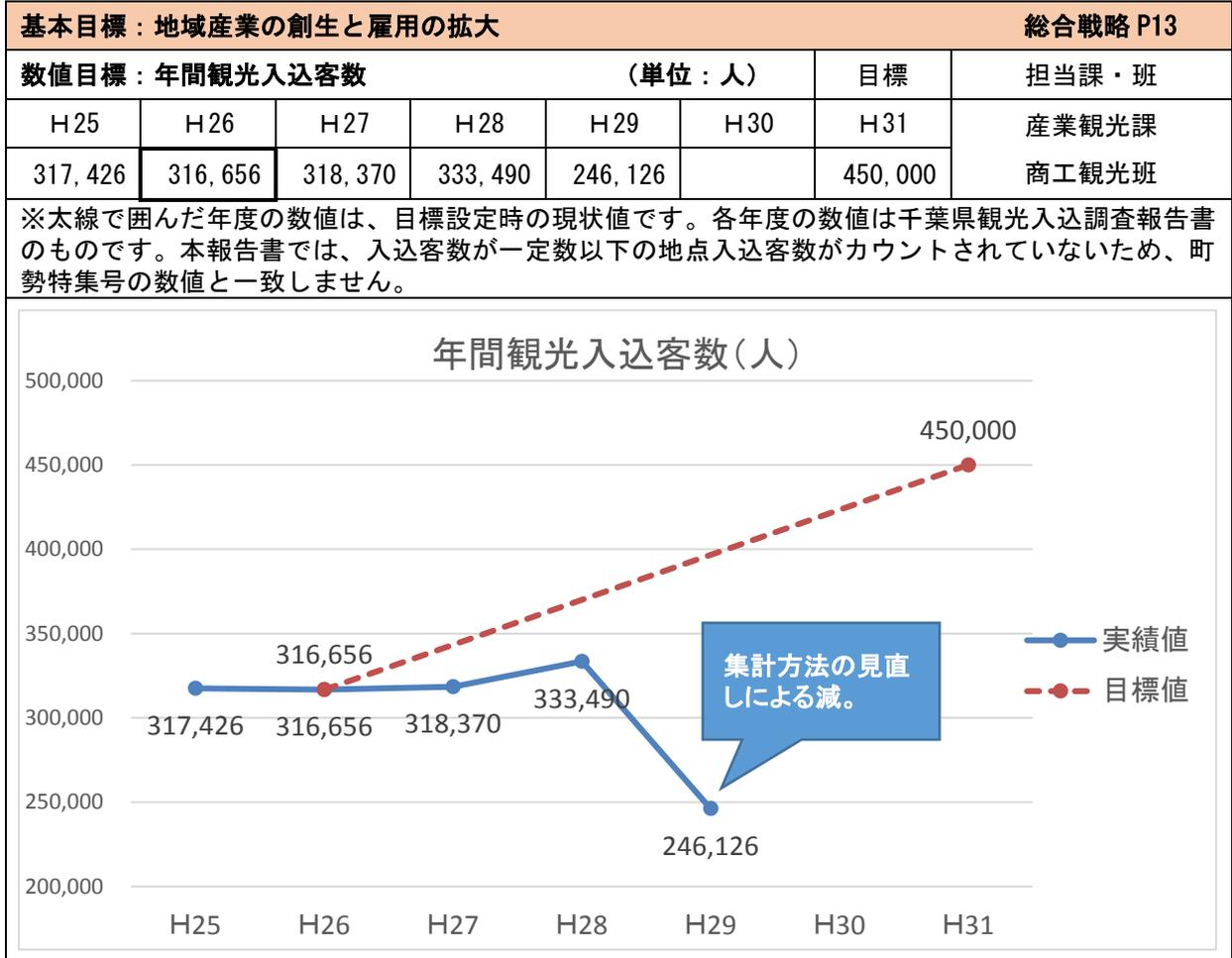


御宿町まち・ひと・しごと創生総合戦略
施策検証シート
(平成 29 年度実施分)

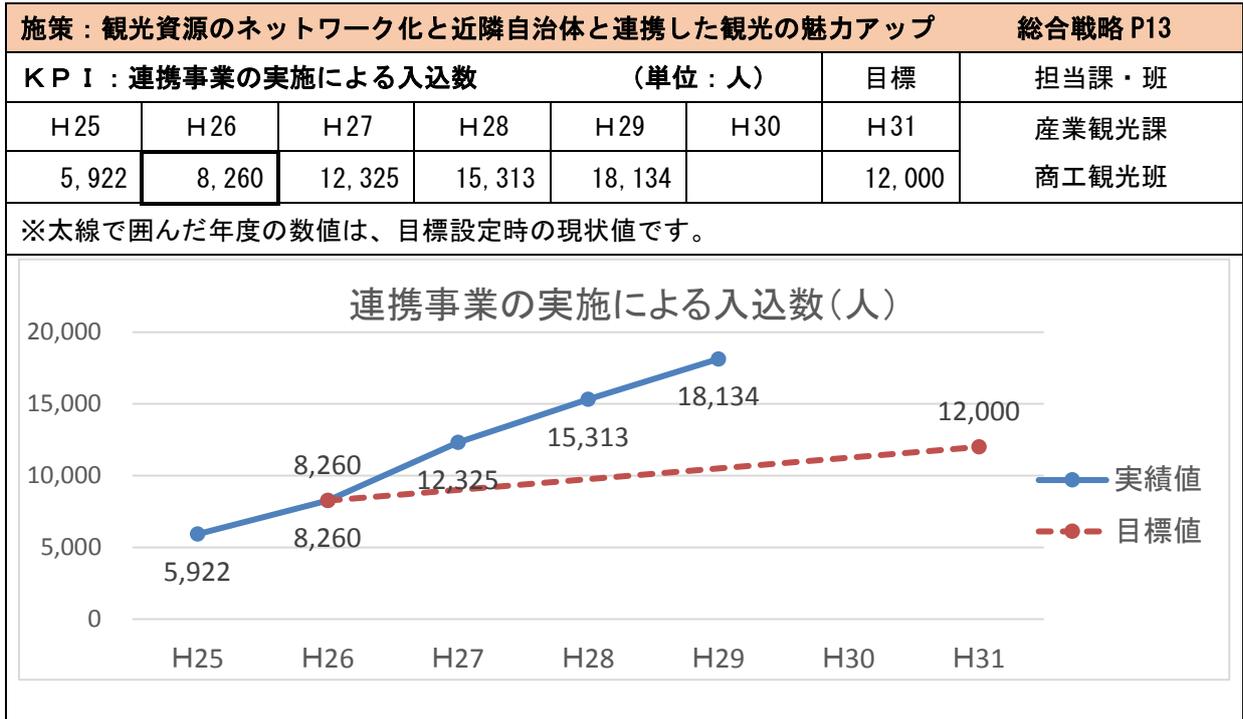


計画期間におけるこれまでの実施状況とこれからの方針

【主な実施事項と成果】
<ul style="list-style-type: none"> 御宿海岸を生かしたビーチスポーツを推進し、ビーチバレーボールやライフセービング大会の開催や合宿誘致に取り組んでいます。平成27年度からは新たにビーチサッカー大会を誘致し積極的な海岸活用に努めました。 海水浴場での禁止事項案内看板を設置し、海岸利用者へのマナー向上を図るとともに、快適な利用環境づくりに取り組んでいます（H27～）。平成29年度からは取り組みを強化し、中央海水浴場へ「臨時交番」「移動交番」を設置しました。 バイエフエムとサマーキャンペーンを実施し、ラジオ番組での宣伝や御宿海岸を題材としたポスター、うちわ等の作成を行い、御宿海岸のイメージアップを図りました（H27～28）。 商工会青年部が株式会社バスクリンと共同開発した「御宿の湯」が発売されました（H27）。町でも購入し、各キャンペーン等で御宿のPR活動に活用しています。 外国人客に対応するため、英語表記を加えた観光案内看板を7箇所に設置しました（H28）。さらにこの看板にはAR（拡張現実）機能があり、中国語、韓国語、スペイン語での表記を見ることができます。

御宿町まち・ひと・しごと創生総合戦略 施策検証シート

<ul style="list-style-type: none"> ・千葉ロッテマリーンズと協力し、同球団のホームゲームで御宿PR映像を1試合8回、全20試合で放映しました（H29）。 ・町外の主要道路沿い2か所（勝浦市内、いすみ市境）に御宿町への案内看板を設置しました（H28）。 ・千葉ブランド水産物である外房きんめ鯛を活用した「おんじゆく釣りキンメ祭り」を開催し、ブランド認知度の向上と地域消費の促進を図りました（H29～）。
<p>【要因（目標の達成等を阻害している要因）や課題】</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・お客様の消費スタイルが年々変化していることから、今までどおりの販売形態では、消費を喚起することができないため、どのような工夫で消費を促せるかが課題と考えています。 ・オリンピックを契機とした地域振興策が課題と考えています。 ・御宿町はゴールデンウィークにイベントがなく宿泊閑散期となっています。
<p>【要因や課題を踏まえた具体的な取り組み】</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・例えば「手ぶらで楽しめるビーチ」をコンセプトに、消費者が利用しやすいセット価格の導入等を検討していきます。 ・キャッシュレス化やスポーツイベント誘致に係る資機材等保管施設整備など、受け入れ態勢の充実に向けた新たな需要に対し、民間の設備投資を促進するための制度を検討していきます。 ・有名選手が出場する大会を誘致し、参加型スポーツに加え観戦型スポーツの誘致に取り組み、消費を促進し、地域の元気を創出します。 ・夷隅エリア全体を地域資源として捉え、近隣団体と連携を図り、観光資源の提供を前面に出した誘客策を進めていきます。 ・来訪者にとっては外房地域の地域資源は市町村に違いが見出しにくいいため、食の工夫をきっかけとして御宿町独自の目玉資源の創出を推進していきます。

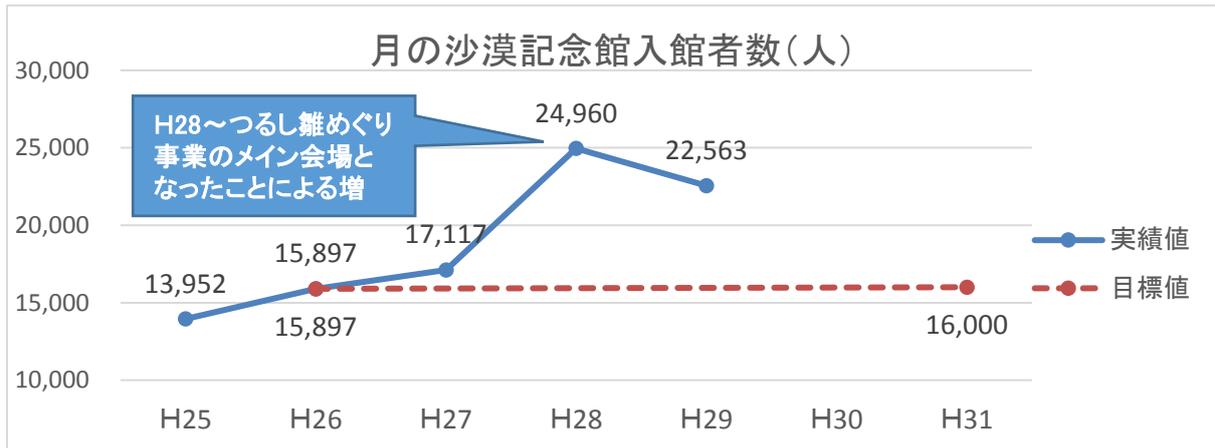


計画期間におけるこれまでの実施状況とこれからの方針

<p>【主な実施事項と成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「おんじゆくまちかどつるし雛めぐり」を「かつうらビッグひなまつり」と合同開催し、市町合同スタンプラリーの実施や、両イベント会場をつなぐバスを運行しました（H27～）。 ・多言語ガイドブックを作成し、外国人観光客の受け入れ体制を整備しました（H27）。 ・大型多言語案内看板を国道128号線沿い（新町）に設置し、誘客を図りました（H27）。 ・中房総広域観光推進ネットワーク協議会や外房観光連盟と連携した観光キャンペーンを実施しています。
<p>【要因（目標の達成等を阻害している要因）や課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広域的な連携を進めるうえで、小さな地域の中にある市町村のカベを取り払い、利用者目線に立った公共施設の活用が課題と考えています。
<p>【要因や課題を踏まえた具体的な取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近隣団体と連携をとり、他市町村のイベントでも駐車場などの公共施設を協力し合うなど、地域全体として目的を共有し、市町村の区別なく地域を楽しんでもらえる工夫を行っていきます。

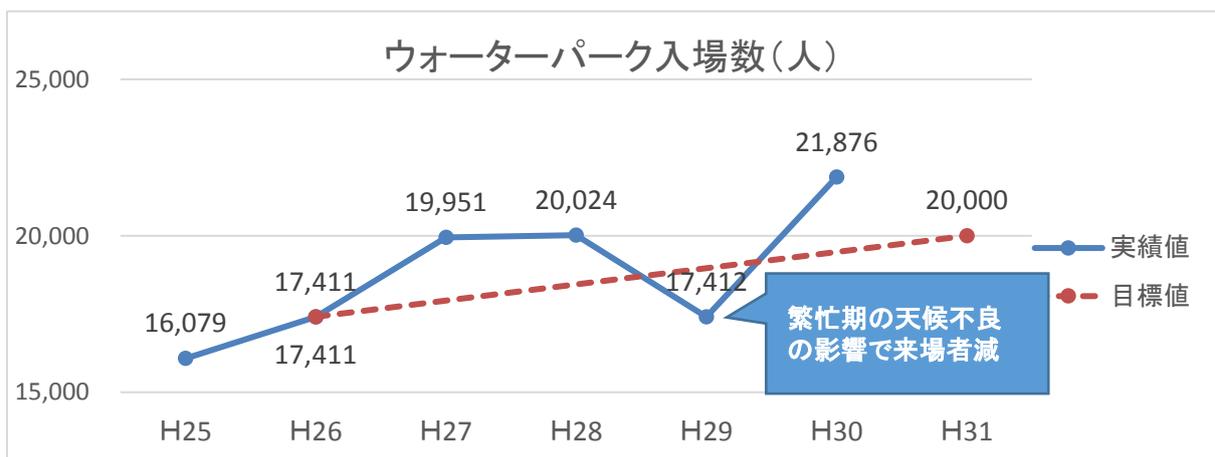
施策：観光資源の発掘と時代のニーズに対応した取組み						総合戦略 P14	
指標名：月の沙漠記念館入館者数 (単位：人)						目標	担当課・班
H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	産業観光課 商工観光班
13,952	15,897	17,117	24,960	22,563		16,000	

※太線で囲んだ年度の数值は、目標設定時の現状値です。



指標名：ウォーターパーク入場数 (単位：人)						目標	担当課・班
H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	産業観光課 商工観光班
16,079	17,411	19,951	20,024	17,412	21,876	20,000	

※太線で囲んだ年度の数值は、目標設定時の現状値です。



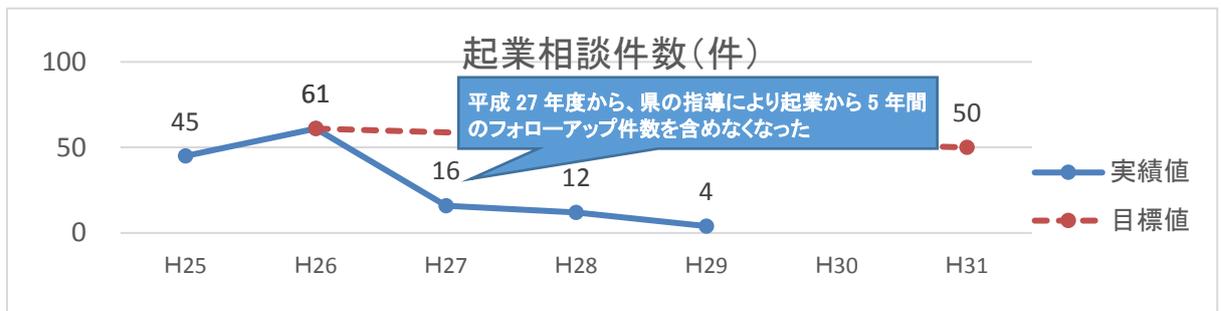
計画期間におけるこれまでの実施状況とこれからの方針

<p>【主な実施事項と成果】</p> <p>〔月の沙漠記念館〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設内のトイレを洋式化し、利用者の利便性向上を図りました（H27）。 ・おんじゆくまちかどつるし雛めぐり事業のメイン会場として活用し、来場者数の増を図りました（H28）。 <p>〔ウォーターパーク〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メキシコにちなんだイベント「ONJUKU de メヒコ」を開催し、利用の付加価値を高め満足度の向上に努めました（H27～H29）。 ・町内だけでなく、夷隅郡市の小中学校にパンフレット、ポスターを配布し広報活動に努めました（H27～）。平成29年度からは招待券付とし、さらなる集客を試みました。 ・平成29年度は、繁忙期の天候不良により来場者数が減少しました。 ・町内の商店と連携し、半券の提示で割引等のサービスが受けられる取り組みを行い、商店への周遊のきっかけを作りました（H30）。 ・売店の価格を見直し、子どもたちの利用しやすい施設運営に努めました（H30）。 ・小イベントは常に新規企画の実施に取り組んでおり、多くの皆さまに楽しんでもらえるよう努めています。
<p>【要因（目標の達成等を阻害している要因）や課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特にウォーターパークは外房エリアで希少なプール施設となっており、広域的なレジャー施設としての役割は高くなってきています。その役割を担って経営を維持していくために、様々な工夫と経営努力が必要となります。また、お客様のリピートを期待するうえで、常にイベントの充実に取り組む必要があります。 ・これらレジャー施設、文化施設と町内商店、いずれかがきっかけとなって町内消費を促していける仕組みづくりが必要と考えています。
<p>【要因や課題を踏まえた具体的な取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共施設と町内商店が連携・協力しあい、お互いに利点があり、町内での消費のループが創出される取り組みを進めていきます。 ・公共施設の外房エリアとしての役割を担うため、施設を維持していくにふさわしい、稼げる経営努力をしていきます。

施策：商工業の振興と新たな取り組みへの挑戦 総合戦略 P17

KPI：起業相談件数 (単位：件)						目標	担当課・班
H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	産業観光課 商工観光班
45	61	16	12	4		50	

※太線で囲んだ年度の数值は、目標設定時の現状値です。商工会への起業相談件数。



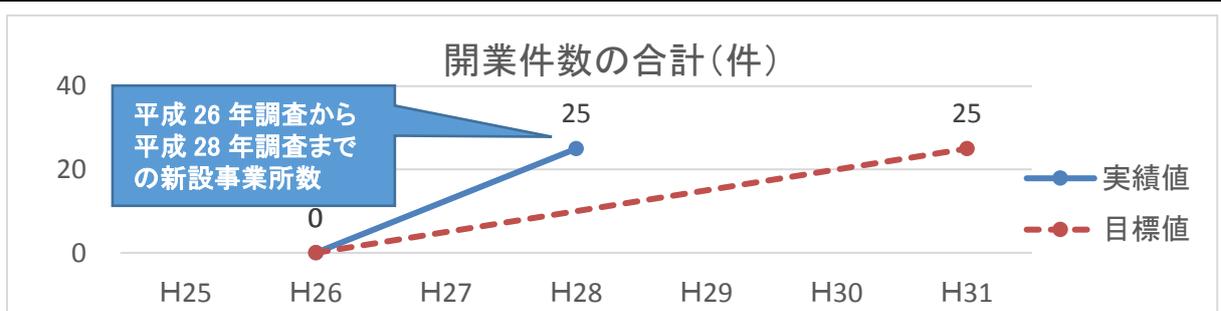
KPI：空き店舗活用の合計数 (単位：件)						目標	担当課・班
H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	産業観光課 商工観光班
-	0	3	4	7		5	

※太線で囲んだ年度は目標設定に向けた初年度で、各年度の数值はそれまでの累計です。



KPI：開業件数の合計 (単位：件)						目標	担当課・班
H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	産業観光課 商工観光班
-	0	-	25	-		25	

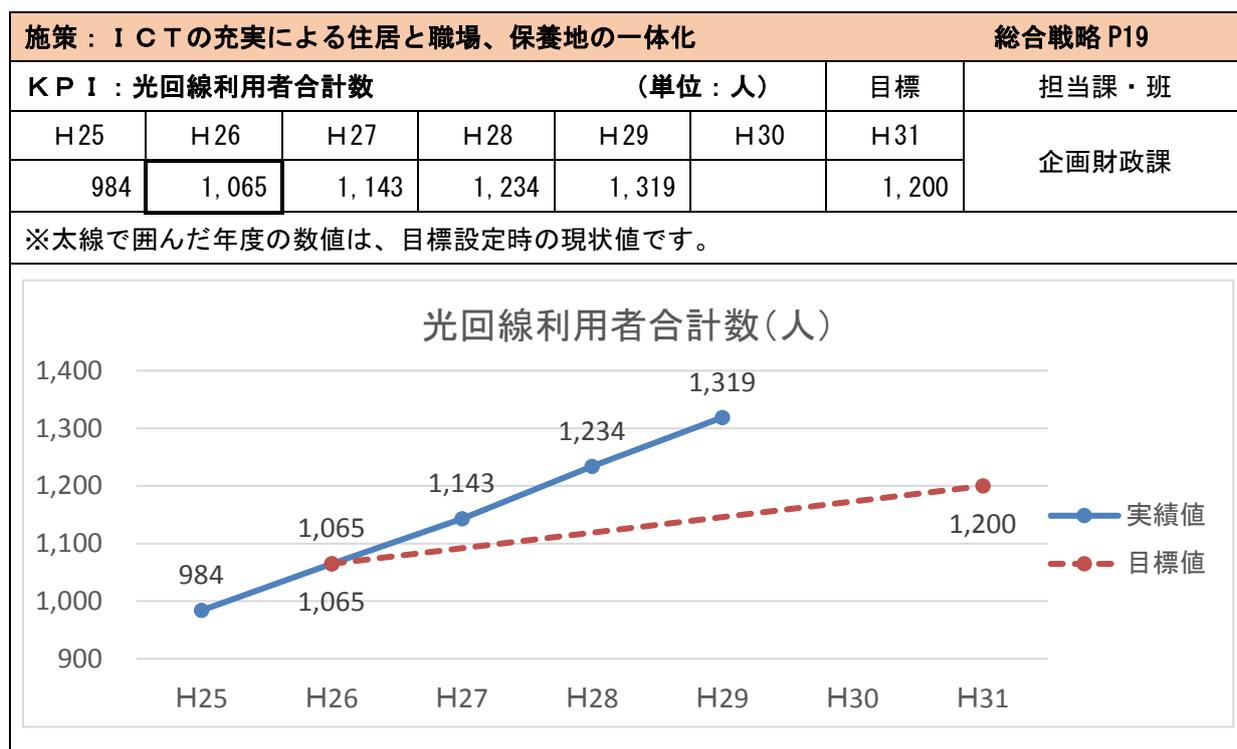
※太線で囲んだ年度は目標設定に向けた初年度で、各年度の数值はそれまでの累計です。経済センサス基礎調査（H26）及び活動調査（H28）による。次回調査は平成31年基礎調査。



御宿町まち・ひと・しごと創生総合戦略 施策検証シート

計画期間におけるこれまでの実施状況とこれからの方針

【主な実施事項と成果】
・ 企業誘致及び雇用促進奨励金により、企業の町内への新たな立地や事業拡張を促進しています。
【要因（目標の達成等を阻害している要因）や課題】
・ 上記奨励金は一定規模以下の小規模事業者は対象とならないこと。
【要因や課題を踏まえた具体的な取り組み】
・ 小規模事業者でも起業しやすい環境を目指すとともに、地域の「稼ぐ力」の向上に資する取り組みを推進していきます。



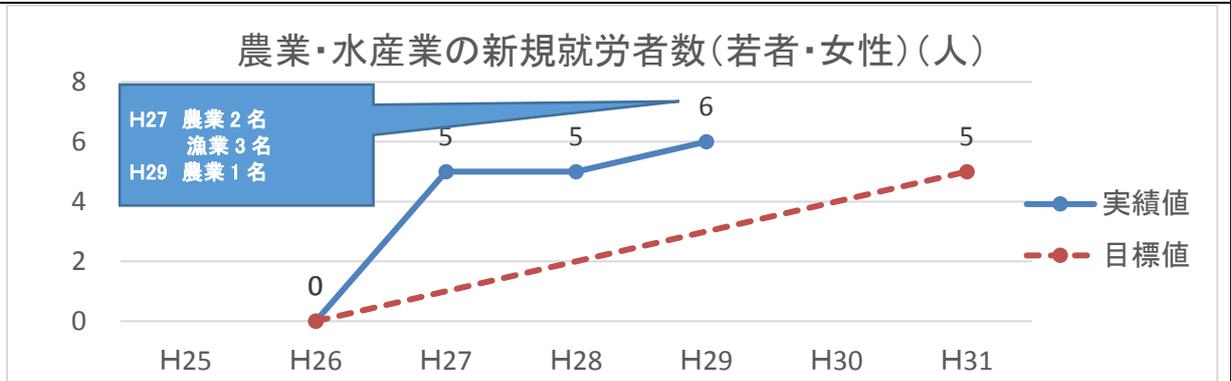
計画期間におけるこれまでの実施状況とこれからの方針

<p>【主な実施事項と成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以前は公民館でのパソコン教室を行ってききましたが、利用者が順調に増加し目的を果たしたため平成27年度以降は特に利用促進施策は行っていません。スマートフォンの普及やプロバイダーとのコラボ企画ができたことで利用者は増加傾向にあり、KPIである1,200人は達成見込みです。 ・公共施設にWi-Fi設備を整備し、インターネット等の利用環境の整備を図りました（H26以前：公民館、駅前観光案内所、月の沙漠記念館、月の沙漠記念館前広場、H27：役場庁舎）。
<p>【要因（目標の達成等を阻害している要因）や課題】</p> <p>今後、固定回線よりも通信速度の速い5G（第5世代移动通信システム）のサービス開始が見込まれ、固定回線の需要に若干の影響があることが想定されます。</p>
<p>【要因や課題を踏まえた具体的な取り組み】</p> <p>当面は設備の維持に努めるとともに、社会情勢に応じた施策を講じていく必要があります。また、Wi-Fiエリア拡大について検討を進め、計画的な環境整備を図ります。</p>

施策：農・水産業の持続と6次産業化の推進 **総合戦略 P20**

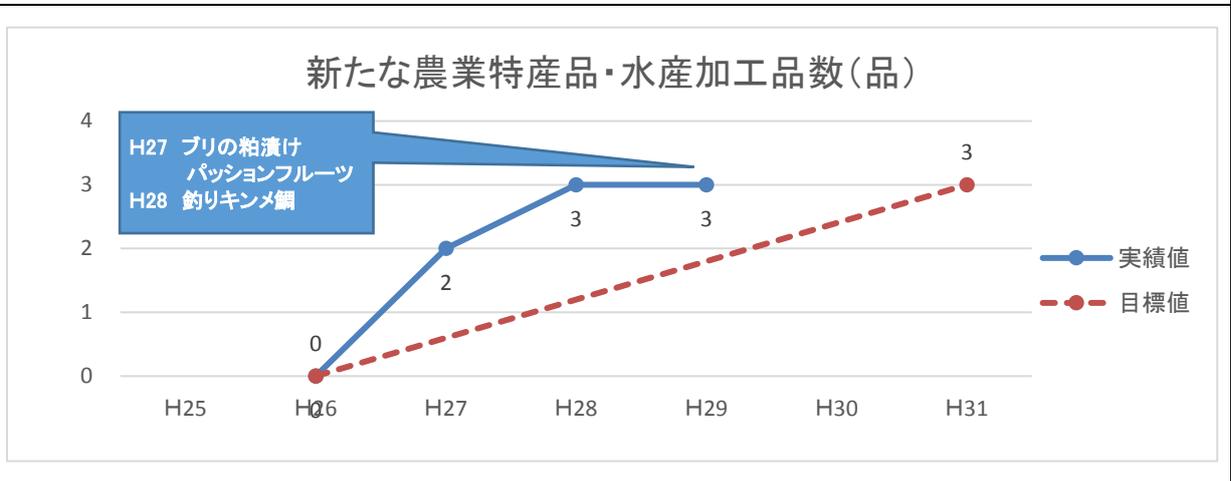
KPI：農・水産業の新規就労者数（若者・女性）（単位：人）						目標	担当課・班
H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	産業観光課 農林水産班
-	0	5	5	6		5	

※太線で囲んだ年度は目標設定に向けた初年度で、各年度の数値はそれまでの累計です。



KPI：新たな農業特産品・水産加工品数						目標	担当課・班
H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	産業観光課 農林水産班
-	0	2	2	2		3	

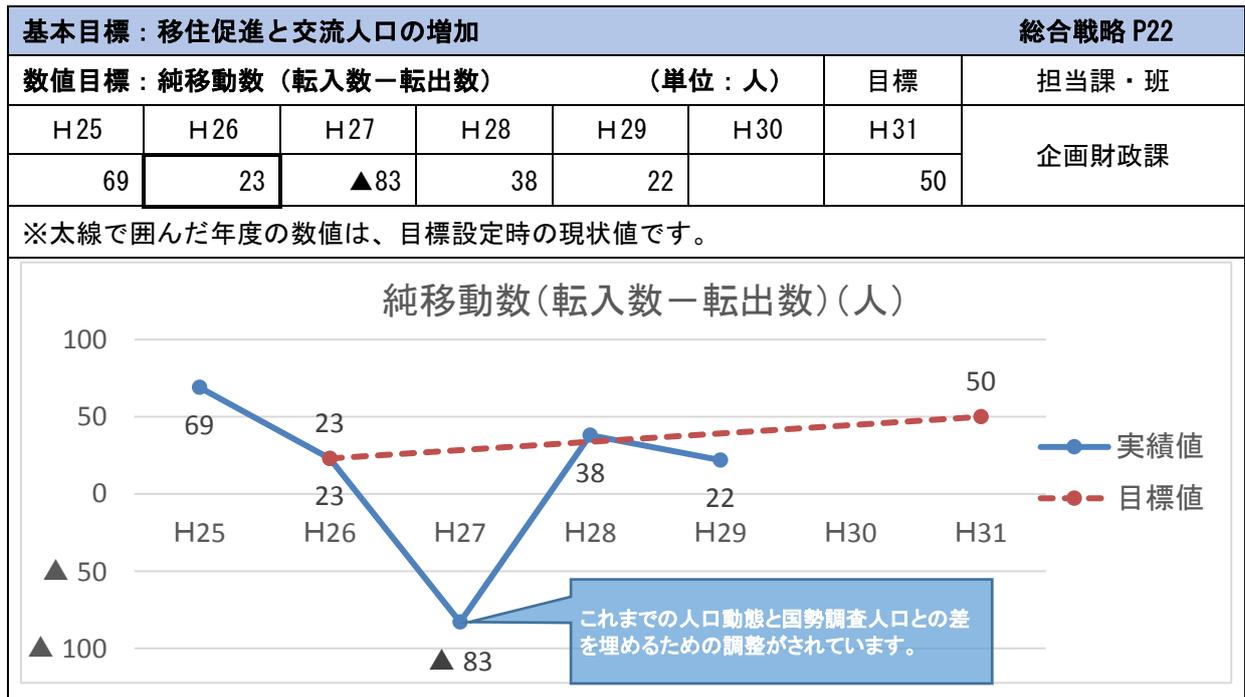
※太線で囲んだ年度は目標設定に向けた初年度で、各年度の数値はそれまでの累計です。



御宿町まち・ひと・しごと創生総合戦略 施策検証シート

計画期間におけるこれまでの実施状況とこれからの方針

<p>【主な実施事項と成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 農業生産基盤の整備にむけた中山間地域総合整備事業は平成 29 年度までで約 30ha が整備されました。 ・ 国の給付金を活用して新規就農者の育成に努めています（H27：2 名、H29：1 名）。 ・ 有害鳥獣対策として、町単独の電気柵等設置補助制度を設けた（H27）ほか、捕獲に必要なわな免許取得費用補助の限度額の増額（H29）、電気止め刺しの従事者への貸与（H29）を行うなど、有害鳥獣による農作物被害防止に努めました。平成 30 年度からは、地域おこし協力隊員 1 名が調査研究を行い、被害対策アドバイスをを行っています。 ・ パッションフルーツは、平成 27 年度に初めてイベントで販売し、その後農業事務所の指導のもと、作付け技術の向上に取り組んでいます。 ・ アワビの資源回復を図るため、3,600 個の魚礁を投入しました（H28）。継続的に調査し、魚礁の状況やアワビの育成状況を確認しています。 ・ 平成 27 年度から 3 名の漁業就業希望者が国の就業給付金事業を活用して現地研修や座学研修を行いました。このうち 1 名が現在も研修中です。 ・ 製品化に成功しているブリの粕漬は、直販以外に販路を拡大しているほか、普及指導員による販売促進に取り組んでいます。 ・ 千葉ブランド水産物である外房きんめ鯛を活用した「おんじゅく釣りキンメ祭り」を開催し、ブランド認知度の向上と地域消費の促進を図りました（H29）。 ・ 畜産・酪農の収益向上を目指して町が支援しているクラスター事業が完了し（H30）、新たな雇用の創出、飼料米の耕作による耕作放棄地の解消、有機牛乳を活用した 6 次産業化が期待されます。まずはアイスの開発に取り組み、それを皮切りに様々な特産品の製品化を推進していきます。
<p>【要因（目標の達成等を阻害している要因）や課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 収益性の低い小規模農家が存続していけないことが懸念される。
<p>【要因や課題を踏まえた具体的な取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人・農地プランを作成し、担い手の確保や共同経営体の強化、農地の集約等による農業施策を推進していきます。



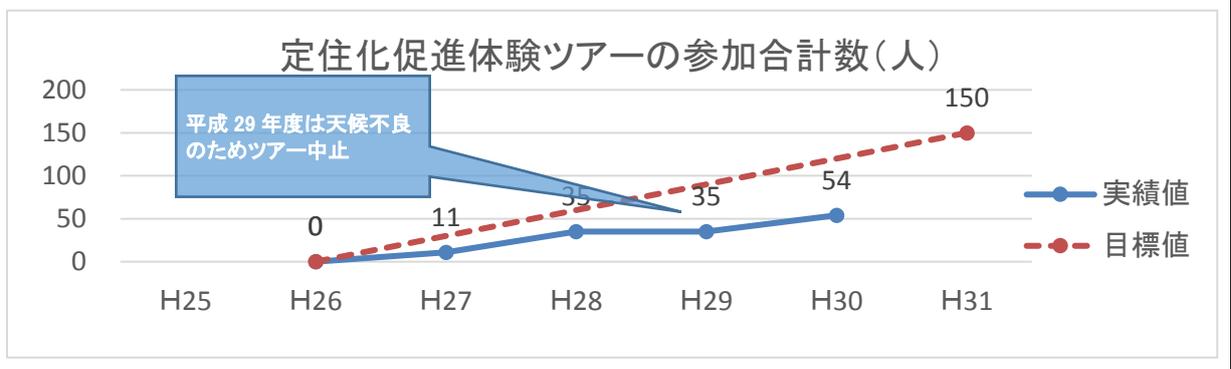
計画期間におけるこれまでの実施状況とこれからの方針

<p>【主な実施事項と成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・御宿町の魅力を県内外に広く伝え、移住促進だけでなく観光振興にもつなげるため、御宿町PR動画を作成しました（H28、H29）。動画は一定期間、都心の商業施設で放映したほか、現在はYouTubeの専門チャンネルと全国移住ナビで閲覧可能です。 ・高田馬場で千葉県と合同による移住定住フェア（H30）、横浜で御宿町単独PRイベント（H30）を実施し、御宿町の知名度アップと魅力発信を図りました。 ・地域おこし協力隊の協力により、御宿町サイクリングツアーを企画しました（H30）。 ・平成28年度にリニューアルしたりフォーム補助金は、転入者が行うリフォームや空き家バンク登録住宅のリフォームも対応しています。 ・移住体験ツアー、お試し暮らし滞在費補助制度、空き家バンク精度については、次項を参照してください。
<p>【要因（目標の達成等を阻害している要因）や課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いくつかの企画、特に御宿町に来ていただいて参加、申請する制度の利用者が少なく、盛り上がり欠ける。 ・数値目標の性質上、施策の効果が短期間で発現しにくく、効果測定が困難です。
<p>【要因や課題を踏まえた具体的な取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町外の方がターゲットなので、ウェブやSNS、報道機関を効果的に活用して周知を重ねる。 ・地道なPR活動を続けるほかなく、上記のように周知を重ねる。

施策：若者の移住・定住化を促進 **総合戦略 P22**

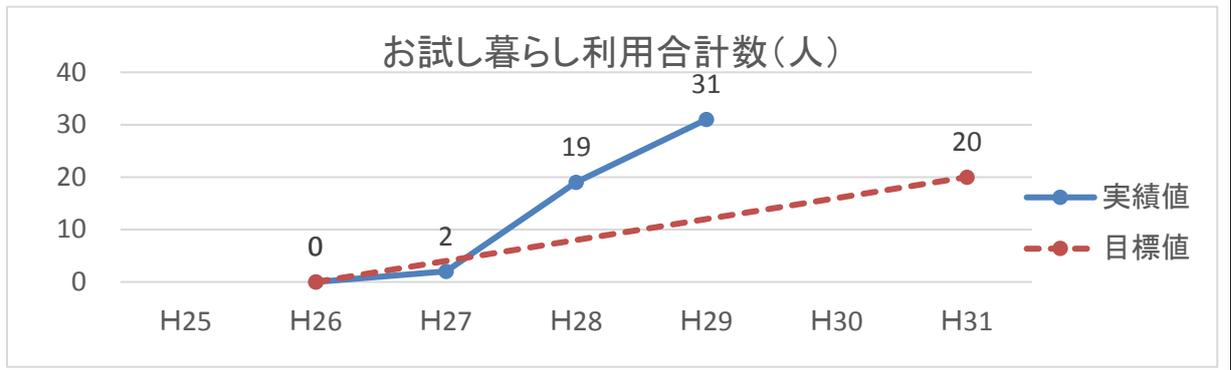
K P I：定住化促進体験ツアーの参加合計数 (単位：人)						目標	担当課・班
H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	企画財政課
-	0	11	35	35	54	150	

※太線で囲んだ年度は目標設定に向けた初年度で、各年度の数値はそれまでの累計です。



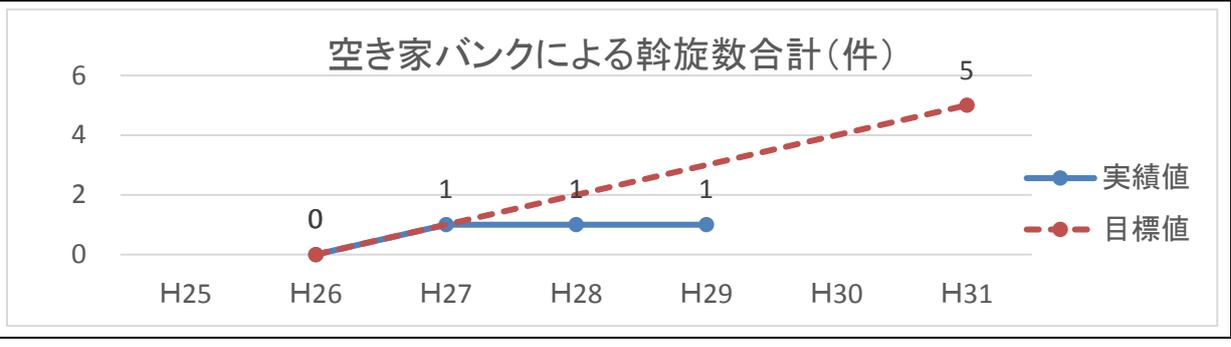
K P I：お試し暮らし利用合計数 (単位：人)						目標	担当課・班
H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	企画財政課
-	0	2	19	31		20	

※太線で囲んだ年度は目標設定に向けた初年度で、各年度の数値はそれまでの累計です。



K P I：空き家バンクによる斡旋数合計 (単位：件)						目標	担当課・班
H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	企画財政課
-	0	1	1	1		5	

※太線で囲んだ年度は目標設定に向けた初年度で、各年度の数値はそれまでの累計です。



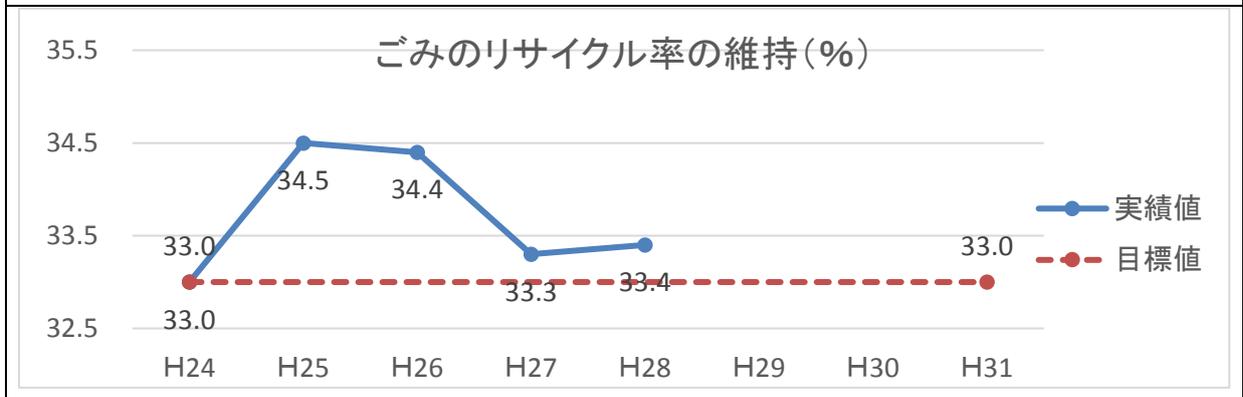
計画期間におけるこれまでの実施状況とこれからの方針

<p>【主な実施事項と成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 29 年度までの体験ツアーは、日帰りで漁師や農家の方との交流や町内店舗の散策を通して、御宿町の風土や食文化を体験していただきました。参加者の方のうち移住された方の把握はできておりませんが、参加者にアンケートを実施して移住先に求めるニーズを把握し今後の施策展開に活かしていきます。 ・地域おこし協力隊によるサイクリングツアーを企画し募集しています。 ・また、地方創生推進交付金を活用したウェブアンケートを実施して御宿町への移住に強い関心のある方を募り、東京での座談会と御宿町での体験ツアーを実施しました。都市住民が感じる御宿町の魅力、逆に足りないものなどについて意見を得ることができました。 ・お試し暮らし滞在費補助事業は、制度開始からこれまでに 31 名の利用があり、このうち実際に移住した方もいます。参加者に占める移住者の割合が大きく、効果のある施策といえます。平成 30 年度には補助対象となる施設にゲストハウスを新たに指定しています。 ・空き家バンク制度は、成約まで進んだのは 1 件のみです。移住希望者からの相談（購入または賃貸）は月 1 回程度あるものの、売り手、貸し手からの相談はほとんどありません。
<p>【要因（目標の達成等を阻害している要因）や課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定住化促進体験ツアーについては、気軽に参加できるように参加者負担を低く（保険料、ノベルティ代で 1,000 円）設定したため、観光気分で参加されても区別ができず、従来の方策では移住につながる可能性が低く参加者を増やしても効果は期待できないと考えます。 ・お試し暮らし滞在費補助事業は、利用者と個別にヒアリングを行うため、移住検討度の高い参加者が多い傾向です。しかし、現在指定施設がゲストハウスのみのため、志向の合わない利用希望者は利用をためらうことが懸念されます。 ・空き家バンク制度は、物件提供の相談自体が少ないため、制度の周知が必要ですが、不動産会社には物件が出ているため、今後協力しながら移住政策を進めていきます。
<p>【要因や課題を踏まえた具体的な取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験ツアーについては、PR イベントなどで御宿町を広く周知することと併せて、小数でも御宿町または外房地域への移住を強く希望している方が参加できるような企画の継続を検討していきます。 ・お試し暮らし滞在費補助事業については、利用希望者が利用しやすい受け入れ態勢を整えていくことに加えて、制度の周知を図っていきます。 ・空き家バンク制度は、制度の周知により空き家の有効活用を図っていきます。

施策：豊かな自然環境の活用と生活環境づくり **総合戦略 P24**

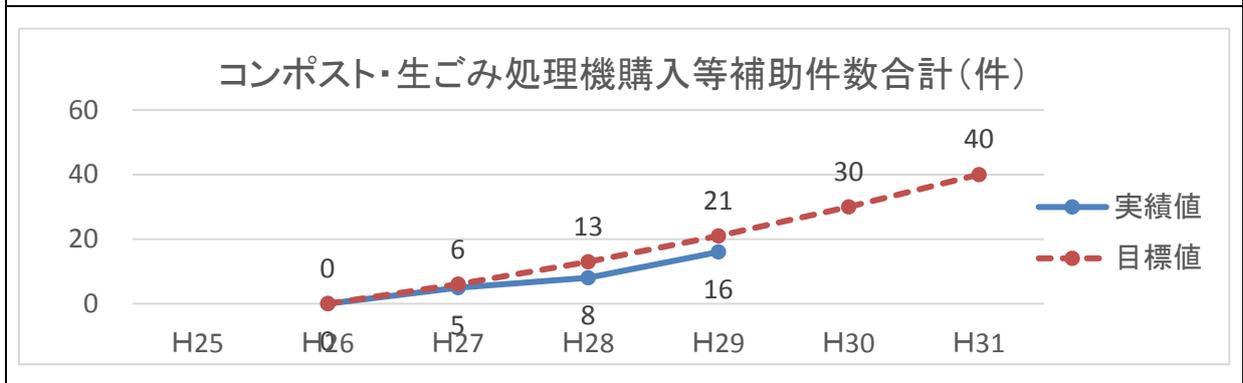
K P I：ごみのリサイクル率 (単位：%)						目標	担当課・班
H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	建設環境課 じん芥対策班
34.5	34.4	33.3	33.4	未公表		33.0	

※太線で囲んだ年度の数值は、目標設定時の現状値です。



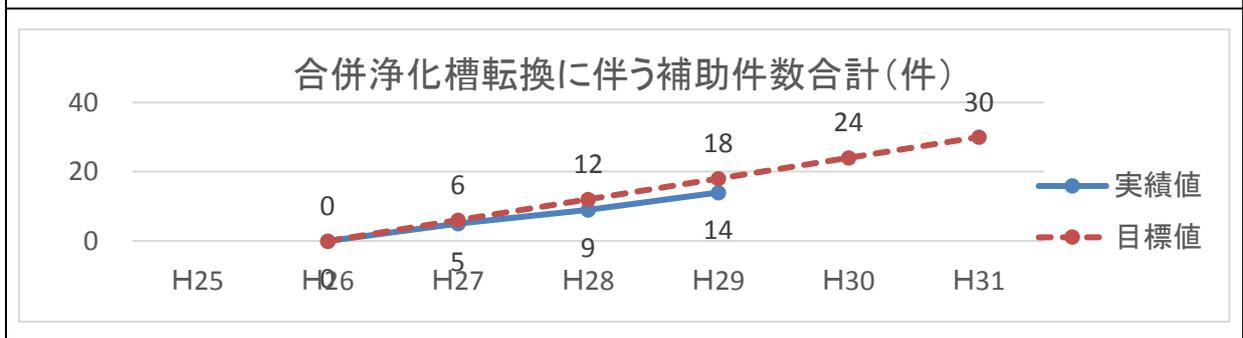
K P I：コンポスト・生ごみ処理機購入等補助件数合計 (単位：件)						目標	担当課・班
H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	建設環境課 建設環境班
-	0	5	8	16		40	

※太線で囲んだ年度は目標設定に向けた初年度で、各年度の数值はそれまでの累計です。



K P I：合併浄化槽転換に伴う補助件数合計 (単位：件)						目標	担当課・班
H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	建設環境課 建設環境班
-	0	5	9	14		30	

※太線で囲んだ年度は目標設定に向けた初年度で、各年度の数值はそれまでの累計です。

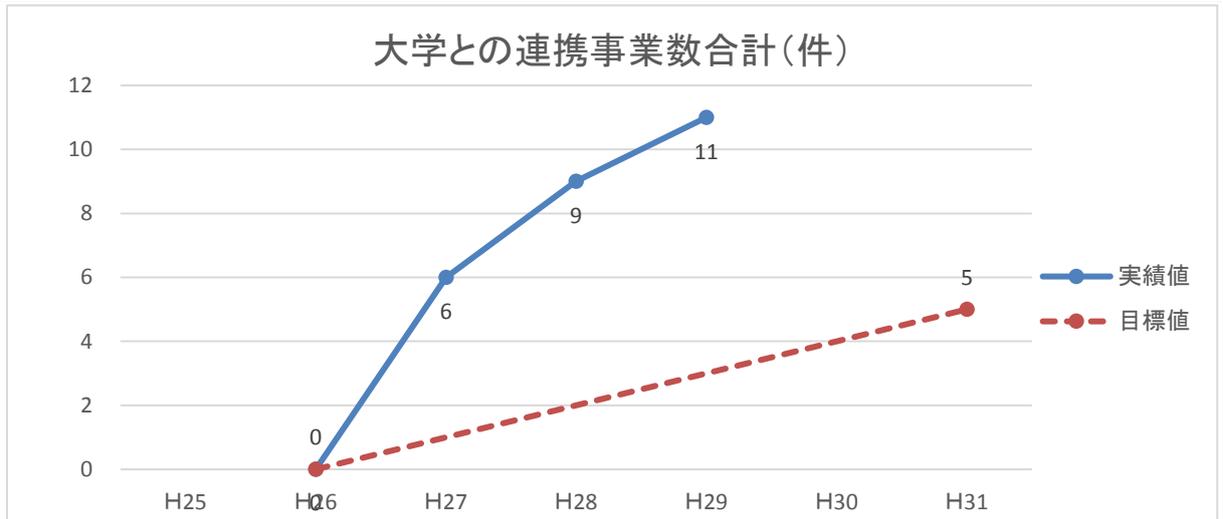


計画期間におけるこれまでの実施状況とこれからの方針

<p>【主な実施事項と成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ リサイクル率については、ごみ袋の料金体系（資源ごみ袋が安い）、資源ごみ袋でのセンター持ち込み料金の免除、資源ごみ収集日の増設などによりリサイクル率は県内上位となっています。 ・ 町民清掃、海岸清掃、海岸クリーンアップキャンペーンを通して、町民と協力して環境美化に努めています。 ・ 不法投棄を防止するため、重ねて投棄のある場所への看板の設置や、監視員によるパトロールを実施しています。 ・ プール付近の保安林のサギ類の繁殖に関しては、保安林を管轄する県へ対策を要請し、草刈や消毒防臭剤の散布を行いました。 ・ 地球温暖化防止策として、住宅用省エネルギー設備等の設置補助、生ごみ処理機やコンポストの設置、購入補助を実施しています。 ・ 河川や海の汚濁防止として、合併浄化槽への転換補助を実施しています。
<p>【要因（目標の達成等を阻害している要因）や課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コンポスト・生ごみ処理機購入等補助、合併浄化槽転換補助の利用促進策が課題となっています。
<p>【要因や課題を踏まえた具体的な取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 補助制度について重ねて広報し、環境負荷軽減に対する意識の醸成に努めていきます。

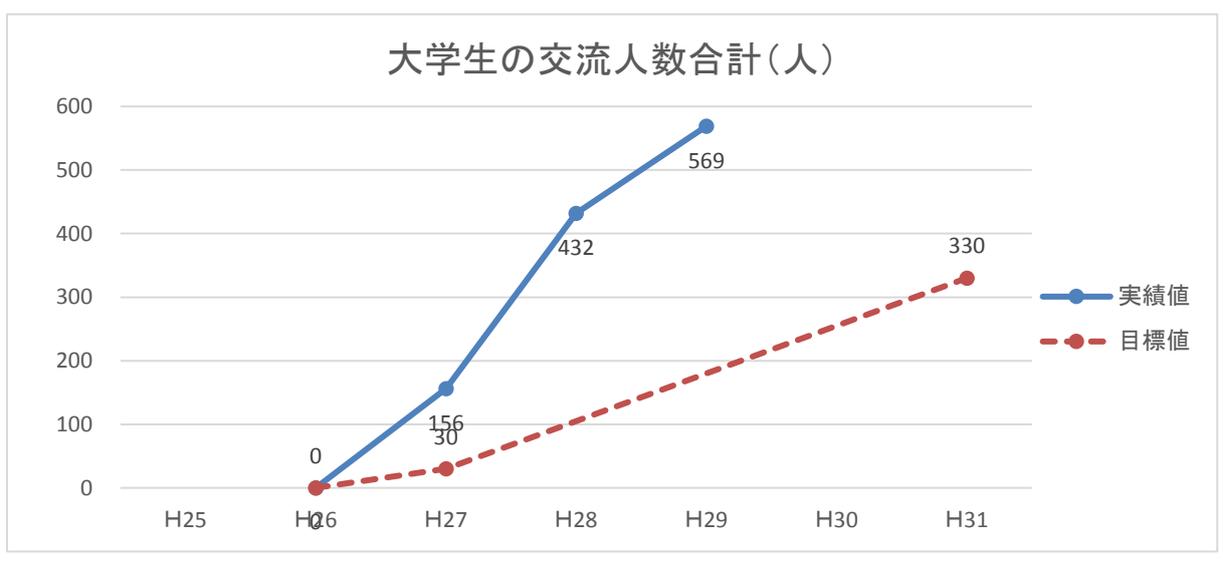
施策：大学との連携による地の拠点づくり						総合戦略 P26	
KPI：大学との連携事業数合計 (単位：件)						目標	担当課・班
H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	企画財政課
-	0	6	9	11		5	

※太線で囲んだ年度は目標設定に向けた初年度で、各年度の数値はそれまでの累計です。



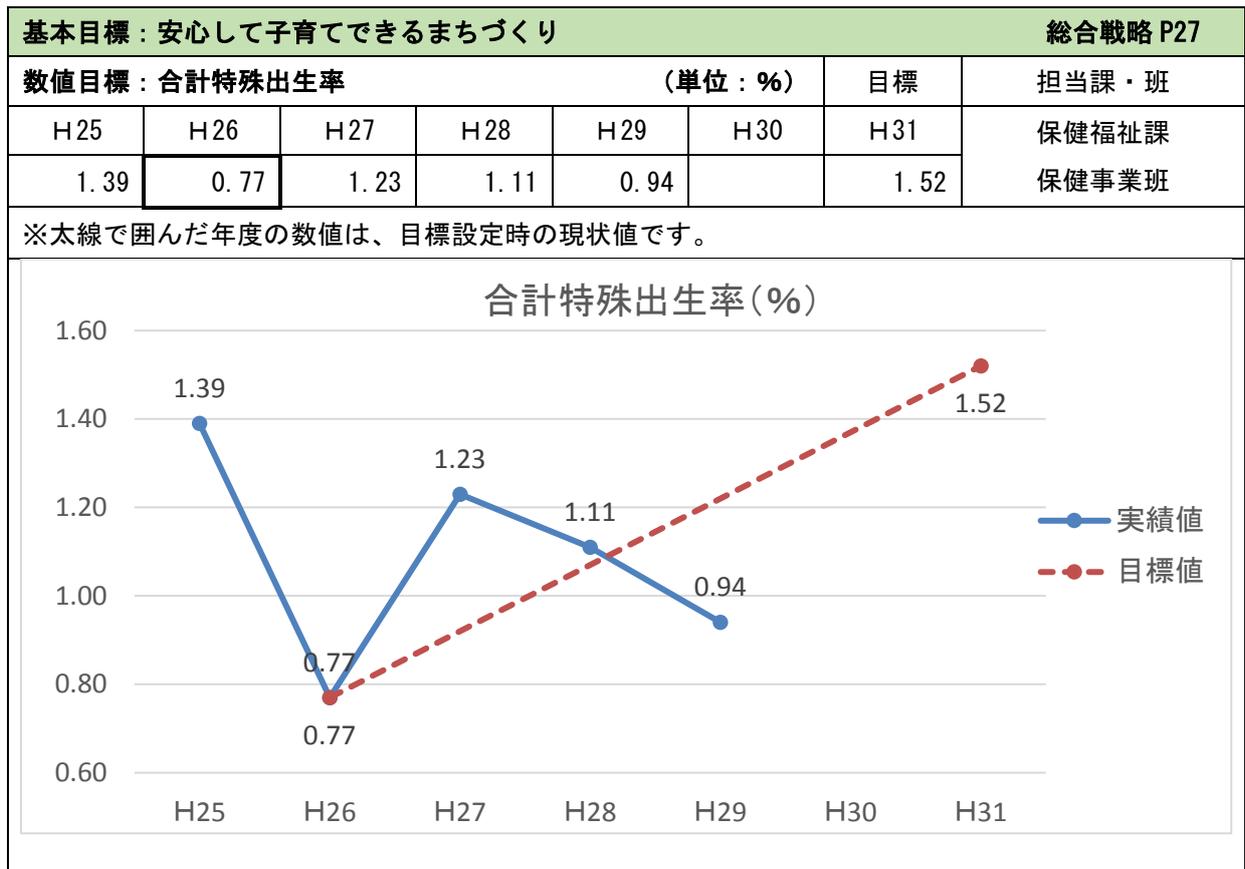
KPI：大学生の交流人数合計 (単位：人)						目標	担当課・班
H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	企画財政課
-	0	156	432	569		330	

※太線で囲んだ年度は目標設定に向けた初年度で、各年度の数値はそれまでの累計です。



計画期間におけるこれまでの実施状況とこれからの方針

<p>【主な実施事項と成果】</p> <p>・地域の大学と連携・協力体制を築き、まちづくりや生涯学習、教育、保健事業、スポーツなど様々な分野で大学の知的、人的資源の活用を図っています。</p> <p>千葉工業大学：ON19 サミット、大型多言語看板デザイン、星空教室、メキシコ学生交流</p> <p>国際武道大学：ライフセービング学習、健康体カチェック</p> <p>拓殖大学：ライフセービング学習</p> <p>城西国際大学：公民館出前口座</p> <p>神田外語大学：メキシコ学生交流</p> <p>工学院大学：ビーチタウン調査</p> <p>三育学院大学：健康づくり事業、CCRC</p>
<p>【要因（目標の達成等を阻害している要因）や課題】</p> <p>・より横断的に大学の知的、人的財産を活用していく必要があります。</p>
<p>【要因や課題を踏まえた具体的な取り組み】</p> <p>・大学との協働施策の経験値を積んで、互いが協力しやすい仕組みの構築に取り組んでいきます。</p>

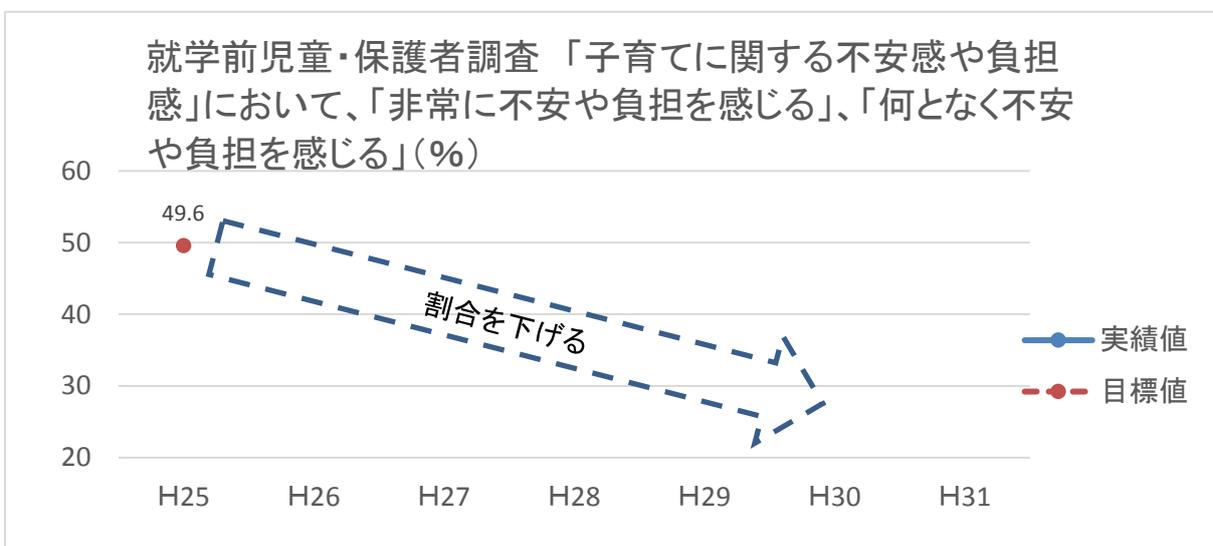


計画期間におけるこれまでの実施状況とこれからの方針

<p>【主な実施事項と成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども医療費助成について所得制限を撤廃し、すべての児童を対象としました (H28)。 ・高校生等医療費助成制度を開始しました (H28)。 ・児童インフルエンザの予防接種費用の助成を開始しました (H28)。 ・母子健康手帳アプリを活用した「保健・子育て情報配信サービス」を開始しました (H29)。 ・子育て相談の受付方法を電話、メールでも可能としました (H29)。
<p>【要因 (目標の達成等を阻害している要因) や課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合計特殊出生率はさまざまな要因 (女性の晩婚化、夫婦共働き世帯の増、経済的安定性等) があり、さまざまな施策の総合的かつ長期的効果の結果によるもので、施策の効果の評価が難しい。 ・出生数の絶対値が少ないため、年による変動が大きい。
<p>【要因や課題を踏まえた具体的な取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国の施策と同調し、また町民の意見を十分に取り入れながら広域的に子育てしやすい環境を整え、それをアピールしていく必要があります。

施策：安心して子どもを産み育てることができる環境づくり						総合戦略 P27	
KPI：就学前児童・保護者調査 「子育てに関する不安感や負担感」において、「非常に不安や負担を感じる」、「何となく不安や負担を感じる」 (単位：%)						目標	担当課・班
H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	保健福祉課 福祉介護班
49.6						割合を下げる	

※太線で囲んだ年度の数値は、目標設定時の現状値です。平成 25 年度数値は、同年度の「子ども子育て支援事業計画アンケート調査」より。次回アンケートは平成 30 年度実施予定。



計画期間におけるこれまでの実施状況とこれからの方針

【主な実施事項と成果】
<ul style="list-style-type: none"> ・ 認定こども園内に子育て支援センターが新設されたことに合わせて、平日毎日開催し、利用者しやすい環境を整えました (H28 までは週 1 日のみ)。また、乳幼児に向けたイベント (誕生日お祝いなど) も充実させ、乳幼児とともに保護者同士の交流の場としても活用いただいています。 ・ 子ども医療費助成について所得制限を撤廃し、すべての児童を対象としました (H28)。 ・ 経済的負担を軽減するため、多子世帯の保育料の軽減措置を国の基準に上乗せして実施しています。 (町独自の支援：世帯年収 360 万円以上の場合でも第 2 子半額、第 3 子無料) ・ 子育てと仕事の両立を支援するため、病児保育の受け入れが可能な医療機関と協力体制を築いています。 ・ 妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援を実施するため、行政内部における連携の強化を進めています。

御宿町まち・ひと・しごと創生総合戦略 施策検証シート

【要因（目標の達成等を阻害している要因）や課題】

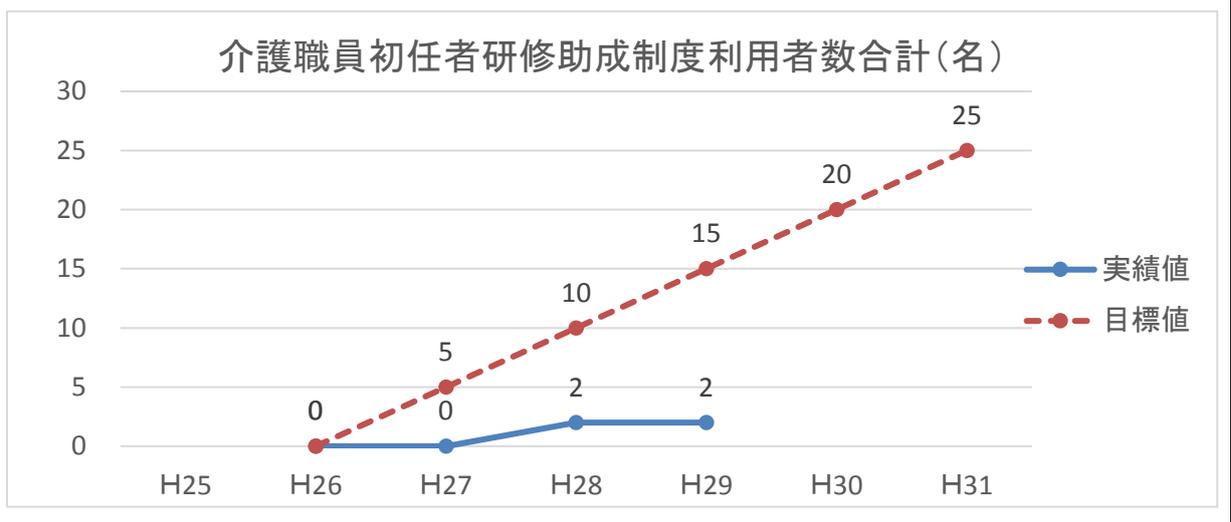
- ・子育て支援センターは平日のみのため、イベントに参加できる人が限られてきます。子育て支援センターに通えない方と保育士や保護者同士のコミュニケーション不足を感じるとともに、それらの方からの細かな要望が把握できなく施策に反映できない心配があります。

【要因や課題を踏まえた具体的な取り組み】

- ・気軽に何でも相談できる仕組み、環境づくりに取り組み、子育てに対する不安の解消に努めていきます。

施策：仕事と家庭の調和の実現						総合戦略 P29	
KPI：介護職員初任者研修助成制度利用者数合計（単位：名）						目標	担当課・班
H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	保健福祉課 福祉介護班
-	0	0	2	2		25	

※太線で囲んだ年度は目標設定に向けた初年度で、各年度の数値はそれまでの累計です。



計画期間におけるこれまでの実施状況とこれからの方針

【主な実施事項と成果】
・介護職員の人材育成と移住促進を図るため、介護職員初任者研修費用に対し10万円上限に助成します。
【要因（目標の達成等を阻害している要因）や課題】
・介護職員のなり手が少なく、人材の不足した状況が続いている。介護職員の不足がさらに介護現場の負担を増やしている。
【要因や課題を踏まえた具体的な取り組み】
・積極的に制度周知に努めるとともに、国の制度も併せて周知していきます。

施策：特色ある教育活動の充実と安全で安心な学校づくり							総合戦略 P30	
KPI：海と山の子交流事業の継続						目標	担当課・班	
H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	教育課 学校教育班	
実施	実施	実施	実施	実施		実施		
※太線で囲んだ年度は目標設定に向けた初年度で、各年度の数値はそれまでの累計です。								
<p>海と山の子交流事業の継続</p> <p>H25 H26 H27 H28 H29 H30 H31</p>								
KPI：ライフセービング教室の実施						目標	担当課・班	
H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	教育課 学校教育班	
実施	実施	実施	実施	実施		実施		
※太線で囲んだ年度は目標設定に向けた初年度で、各年度の数値はそれまでの累計です。								
<p>ライフセービング教室の実施</p> <p>H25 H26 H27 H28 H29 H30 H31</p>								
KPI：磯観察会、なぎさマラソンの実施など						目標	担当課・班	
H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	教育課 学校教育班	
実施	実施	実施	実施	実施		実施		
※太線で囲んだ年度は目標設定に向けた初年度で、各年度の数値はそれまでの累計です。								
<p>磯観察会、なぎさマラソンの実施など</p> <p>H25 H26 H27 H28 H29 H30 H31</p>								

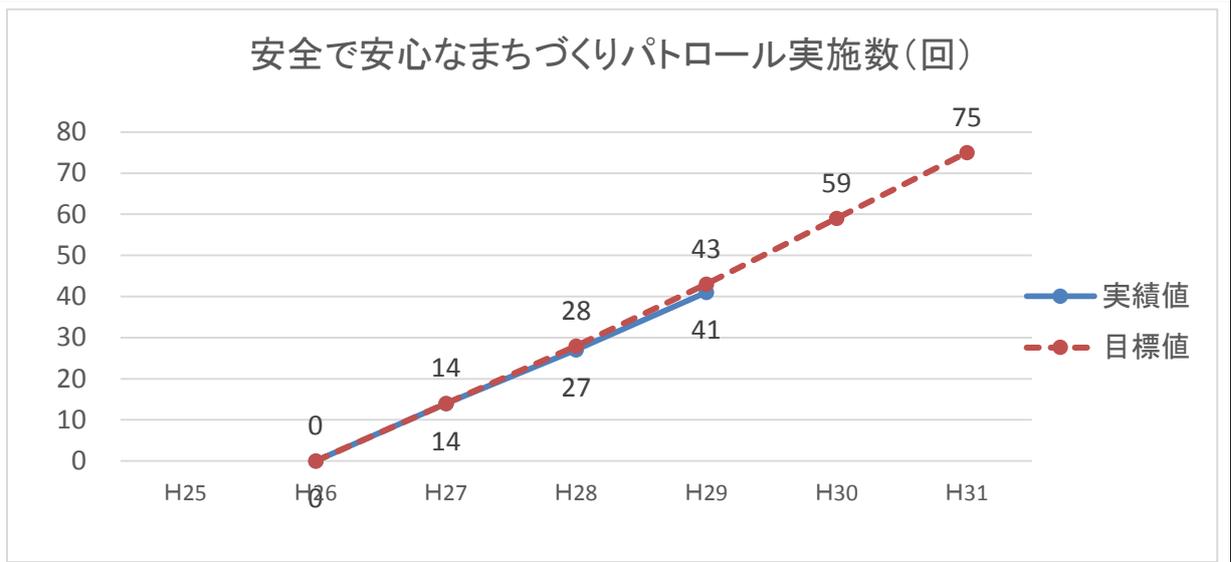
計画期間におけるこれまでの実施状況とこれからの方針

<p>【主な実施事項と成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海と山の子交流事業は、平成30年度の夏が第43回、冬が第42回を数える、伝統的行事となっています。50回目の実施に向けて、関係者の間でも機運が維持されています。 ・教育委員会とライフセービング協会が連携して、道徳、保健体育、社会、音楽、総合的な学習の時間を活用し、自他の命を大切にす心や命を守るための技能を習得する「命の海洋教育」を展開しています。ライフセービング学習はその取り組みの一環で、ライフセーバーの現場で実践されている技能などを取り入れ授業を行っています。 ・磯観察、なぎさマラソン等は、特色ある教育活動として継続して実施されてきています。他校に比べて種類、回数が多く、地域の歴史や文化に触れた体験学習により次代を担う子どもたちの教育を推進しています。
<p>【要因（目標の達成等を阻害している要因）や課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いずれの取り組みにおいても少子化の影響により、内容の変更（減）や時間の縮小などを検討している段階にあります。 ・ライフセービング協会との連携授業にあっては、町の観光事業任期付職員による貢献が大きく、任期後の人材登用に懸念があります。 ・磯観察、なぎさマラソン等については、英語教科の必修化が予定されているなど、授業時数が増える傾向にあり、そのためこのような独自の授業時間の減で調整せざるを得ない状況が見込まれます。
<p>【要因や課題を踏まえた具体的な取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少子化に対応しながら、地域の教育財産を活用し地域との連携を生かした特色ある教育活動の展開に取り組んでいきます。

施策：地域全体で支え育てる環境づくり **総合戦略 P32**

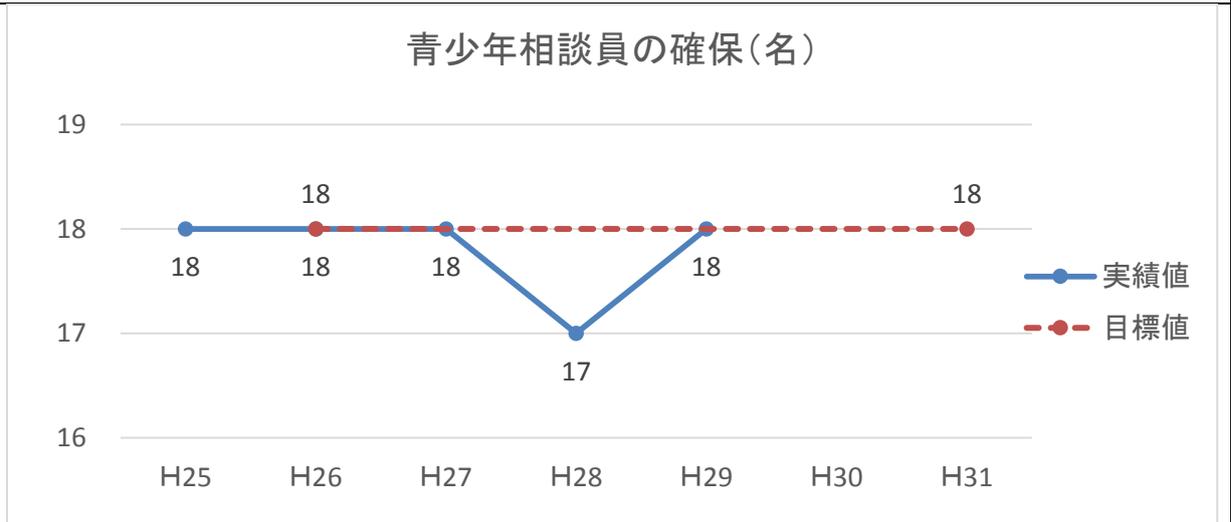
KPI：安全で安心なまちづくりパトロール実施数（単位：回）						目標	担当課・班
H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	総務課 防災総合対策班
-	0	14	27	41		75	

※太線で囲んだ年度は目標設定に向けた初年度で、各年度の数値はそれまでの累計です。



KPI：青少年相談員の確保（単位：名）						目標	担当課・班
H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	保健福祉課 福祉介護班
18	18	18	17	18		18	

※太線で囲んだ年度の数値は、目標設定時の現状値です。



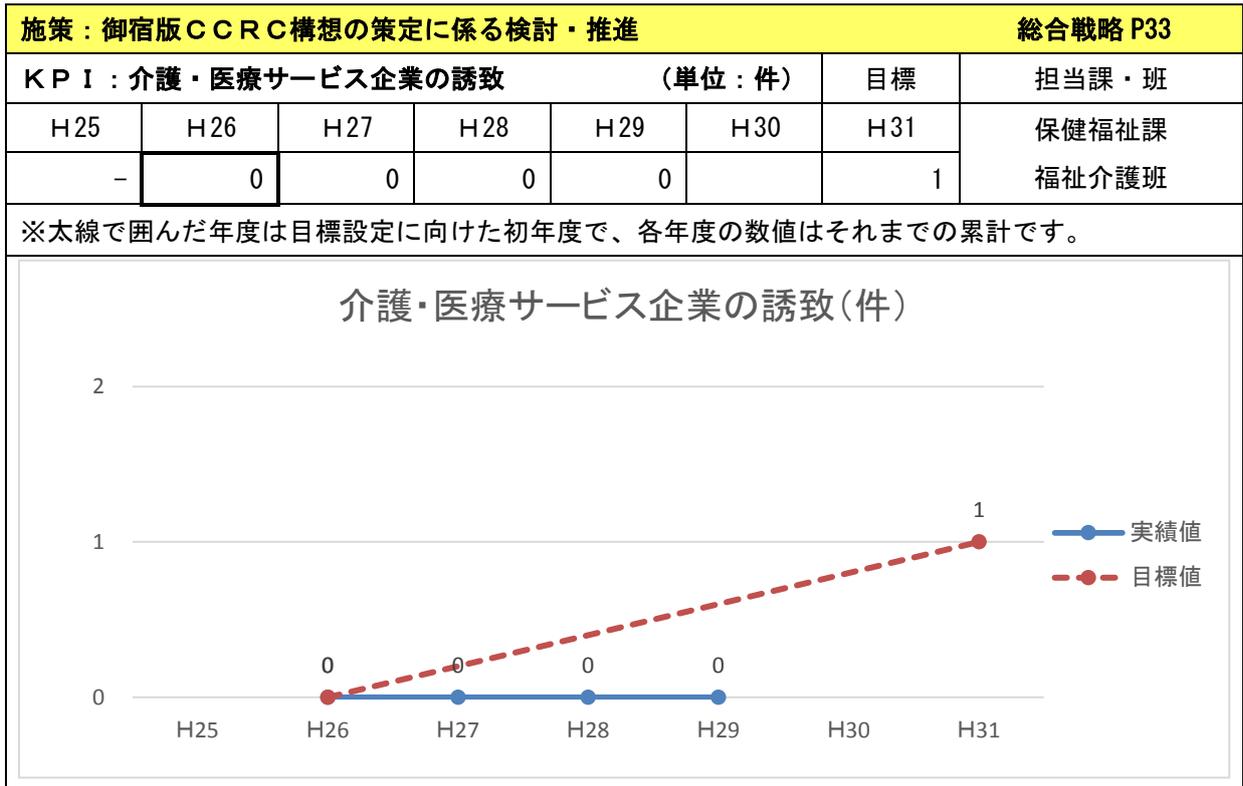
計画期間におけるこれまでの実施状況とこれからの方針

<p>【主な実施事項と成果】</p> <p>〔SST（安全安心まちづくり）パトロール実施回数累計〕 H27：12、H28：24、H29：36 〔青少年相談員パトロール実施回数累計〕 H27：2、H28：3、H29：5</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ SST全体会議を年1回開催し、各区の取り組み状況や警察からの情報を共有することで有効かつ効率的な活動につなげています。 ・ いすみSST協議会の講習会に参加し、各区役員の防犯知識の習得を行っています。 ・ 青少年相談員パトロールは、毎年、浅間様七つ子参り及び夏季の海岸を定期パトロールしています。このほかにも、カーブミラー清掃、成人式の受付、ロドリゴ駅伝大会の支援、不審者対応など様々な活動を行っており、子育て家庭にやさしい生活環境づくりを担っています。
<p>【要因（目標の達成等を阻害している要因）や課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 青少年相談員に関しては、年齢制限（20歳から45歳）があることや、活動内容が多岐にわたり時間的制約が大きいことなどから、担い手が不足しています。
<p>【要因や課題を踏まえた具体的な取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 青少年相談員は、現在各区役員に人選を依頼していますが、別の方法による人材登用も検討していきます。

基本目標：高齢者が安心して住み続けられる環境づくり						総合戦略 P33	
KPI：御宿版CCRCの導入						目標	担当課・班
H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	企画財政課
			構想策定	計画策定	事業実施		
プロジェクトチームの検討を踏まえ事業実施							
※太線で囲んだ年度の数値は、目標設定時の現状値です。							
<div style="text-align: center;"> <h3>御宿版CCRCの導入</h3> <p>The diagram shows a timeline from H25 to H31. Three blue boxes represent 'Conceptualization' (H28), 'Planning' (H29), and 'Implementation' (H30). A larger orange box below represents 'Implementation after project team review' (H27-H31).</p> </div>							

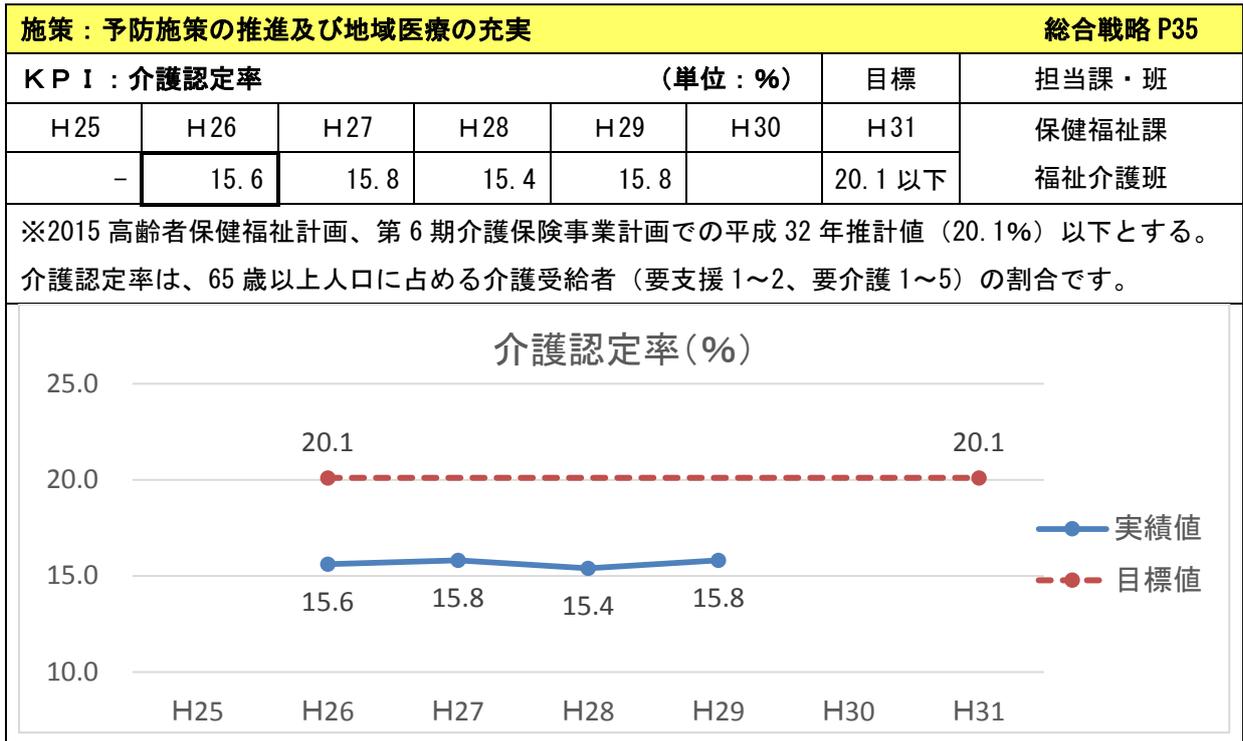
計画期間におけるこれまでの実施状況とこれからの方針

<p>【主な実施事項と成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成 28 年度に御宿版 CCRC 構想の策定を行い、平成 29 年度末には、その構想を実現するための地域再生計画が国に認定されました。また、計画を進める具体的事業に対して地方創生推進交付金の交付決定がありました。 平成 30 年度からは交付金の実施計画に基づきながら、平成 32 年度までの 3 年間で CCRC 構想の実現に向けた取り組みを遂行していきます。
<p>【要因（目標の達成等を阻害している要因）や課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業を実施するにあたり、町や住民、団体などの多様な主体が連携して、御宿町に暮らす方や訪れる方が、心豊かに暮らせるまちを目指していますが、軸となる人材や団体がいないため、様々な事業を実施することによって育成、発掘を行っており、今後、軸となる人材や団体などが、自主的に事業を担うことにより、魅力的なまちになることが期待されています。
<p>【要因や課題を踏まえた具体的な取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> 町と大学や住民が連携して実施する事業や交流サロンを設置しての交流事業、情報サイトの立ち上げ、小中学校学習事業などの事業を通じて、人材の育成や町への移住、転出防止など、地域住民とともにまちづくりを進めます。



計画期間におけるこれまでの実施状況とこれからの方針

<p>【主な実施事項と成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成 30 年度は、今後、介護や福祉医療にかかる事業者に対してアンケートを行い、希望する事業者に対して説明会や町内視察などのセミナーを開催する予定です。
<p>【要因（目標の達成等を阻害している要因）や課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 介護・医療サービス業者の参入条件が把握できていないため、十分なアプローチができない状況です。
<p>【要因や課題を踏まえた具体的な取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成 30 年度に実施予定のアンケート調査やセミナーで参入条件等を把握し、町の必要とする介護医療サービスとのマッチングを図ります。



計画期間におけるこれまでの実施状況とこれからの方針

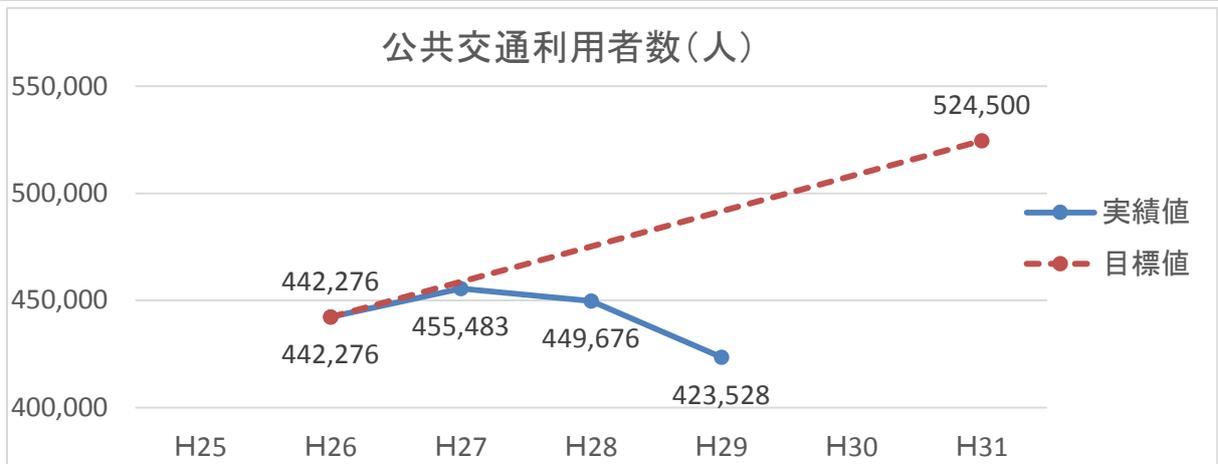
<p>【主な実施事項と成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護予防普及啓発教室（巡回元気いきいき教室や鶴亀クラブなど）を看護学生やボランティアと協働し実施しています。 ・介護予防サポーター養成講座やスキルアップ研修を実施し、サポーターの養成に取り組んでいます。 ・夷隅郡市内の医療機関や、介護事業者などが集まる機会を設け、事例研究やワークショップなどを通して、機関同士の情報共有や連携強化を図っています。 ・介護認定相談時に、相談者の生活状況や利用目的などをヒアリングし、介護サービスの利用以前に他の制度で対応・補完が可能であれば案内することで、適切なサービスの提供を行っています。 ・介護受給権の更新時に介護サービスの利用履歴のない方については更新の必要の有無を確認し、適正な介護認定を図っています。
<p>【要因（目標の達成等を阻害している要因）や課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護予防サポーターの担い手が不足し、次の世代への入れ替わりが停滞している。
<p>【要因や課題を踏まえた具体的な取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サポーター養成講座等の周知と実施に努め、地域で人材を支えあう環境づくりを推進していきます。

基本目標：好循環を支えるまちづくり **総合戦略 P36**

数値目標：公共交通利用者数 (単位：人)						目標	担当課・班
H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	企画財政課
-	442,276	455,483	449,676	423,528		524,500	

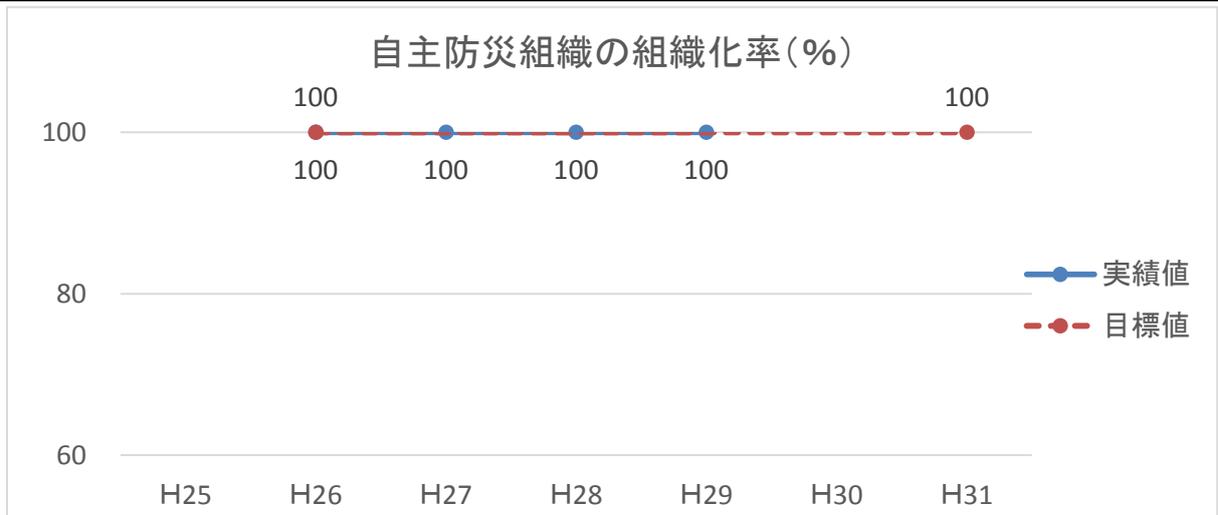
※太線で囲んだ年度の数値は、目標設定時の現状値です。

※エビアミー号、JR御宿駅、民間路線バスの利用者の合計です。平成29年度ではエビアミー号4,305人、JR御宿駅41万3,180人(日平均566人乗車*往復*365日)、民間路線バス(小湊バスの勝浦御宿線)6,043人の合計42万3,528人。



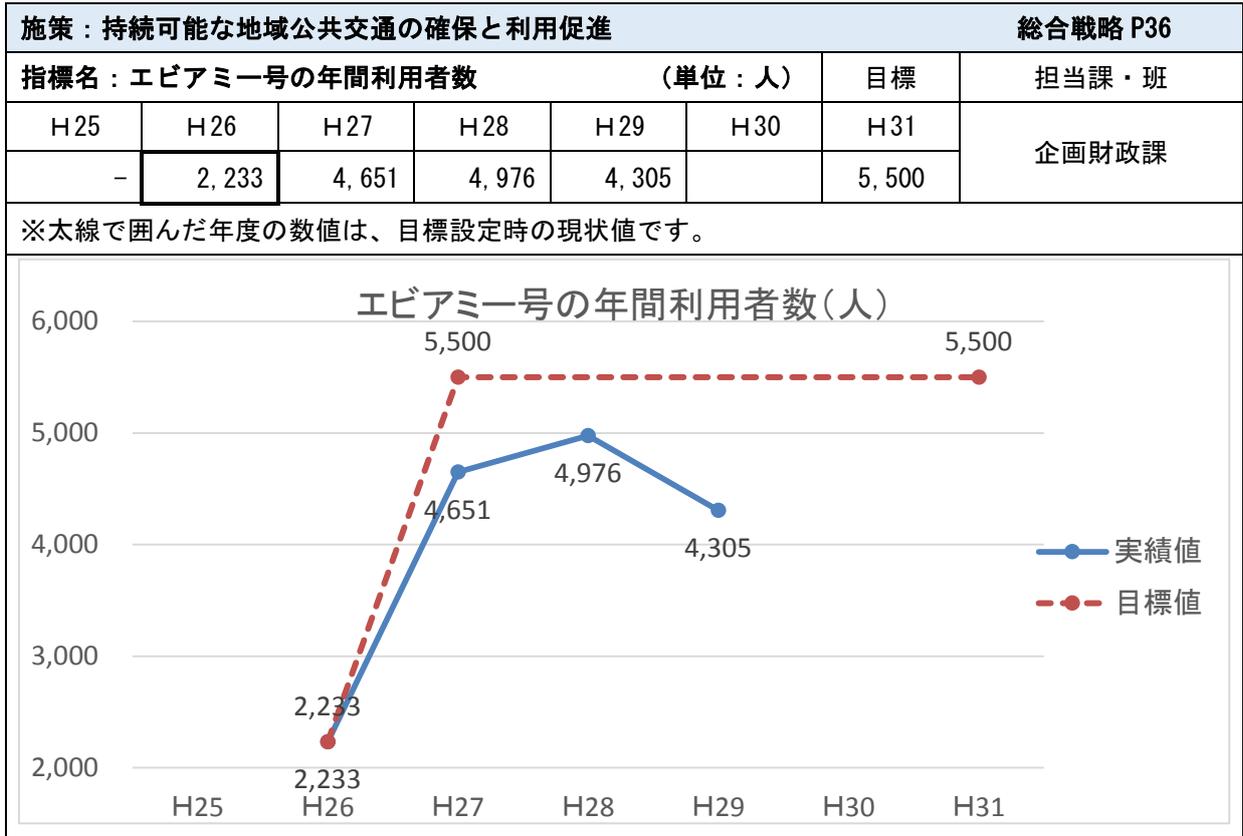
数値目標：自主防災組織の組織化率 (単位：%)						目標	担当課・班
H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	総務課
-	100	100	100	100		100%維持	防災総合対策班

※太線で囲んだ年度の数値は、目標設定時の現状値です。



計画期間におけるこれまでの実施状況とこれからの方針

<p>【主な実施事項と成果】</p> <p>〔エビアミー号〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エビアミー号単独でのKPIは年間5,500人ですが、平成29年度では4,305人で78.3%となっています。 ・利用者の声を反映し、停留所を8か所から12か所に増設しました（H28）。 ・こども園の開園に合わせてこども園に停留所を新設しました（計13か所、H29）。 ・各運行時間帯を30分早め、鉄道利用者の利便性向上を図りました（H29）。 ・車両更新により自動乗降ステップ付となり利便性が向上しました（H30）。 ・車両の位置がウェブ上で確認できるシステムを導入し、待ち時間の不安の解消に努めました（H30）。 <p>〔JR御宿駅〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JR御宿駅単独でのKPIは年間51万1,000人ですが、平成29年度では41万3,180人で80.9%となっています。 ・JRに関しては、以前より駐輪場を整備し主に学生の通学の利便性向上を図ってきました。平成29年度には月極利用のみだった駅前駐車場を一部時間貸しに整備し、駅の利便性向上を図りました。JRや国への要望活動や県での活動を実施しています。 <p>〔民間路線バス（小湊バスの勝浦御宿線）〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小湊バス単独でのKPIは年間8,000人ですが、平成29年度では6,043人で75.6%となっています。この路線は御宿駅と勝浦駅を結ぶ路線で、1日の運行本数は少ないものの、勝浦市の塩田病院を経由するため、病院を行き先とする利用者が一定数あると推測されます。
<p>【要因（目標の達成等を阻害している要因）や課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エビアミー号は平成29年のダイヤ変更後に大きく利用者が減少しましたが、平成30年7月以降は前年同月数を上回る状況が続いています。 ・JR御宿駅利用者は、年々緩やかな減少傾向にあり、それを受けて運行本数の減便などが実施されるとさらに利用者が減るといった悪循環が加速することが懸念されます。 ・小湊バスについても同様に利用者は減少傾向にあります。
<p>【要因や課題を踏まえた具体的な取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エビアミー号に関しては、制度の周知に加え、より簡素でわかりやすい利用システムの整備を検討していきます。 ・JR御宿駅に関しては、悪循環から脱却するために鉄道利用を促進する企画を他市町と連携して実施するなどして利用客を増やすほか、鉄道の利便性をアピールして普段の移動手段として利用を促進する施策を検討していきます。



計画期間におけるこれまでの実施状況とこれからの方針

【主な実施事項と成果】
<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者の声を反映し、停留所を 8 か所から 12 か所に増設しました (H28)。 ・ こども園の開園に合わせてこども園に停留所を新設しました (計 13 か所、H29)。 ・ 各運行時間帯を 30 分早め、鉄道利用者の利便性向上を図りました (H29)。 ・ 車両更新により自動乗降ステップ付となり利便性が向上しました (H30)。 ・ 車両の位置がウェブ上で確認できるシステムを導入し、待ち時間の不安の解消に努めました (H30)。
【要因 (目標の達成等を阻害している要因) や課題】
<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 29 年のダイヤ変更後に大きく利用者が減少しましたが、平成 30 年 7 月以降は前年同月数を上回る状況が続いています。
【要因や課題を踏まえた具体的な取り組み】
<ul style="list-style-type: none"> ・ 制度の周知に加え、より簡素で使いやすい利用システムの整備を検討していきます。

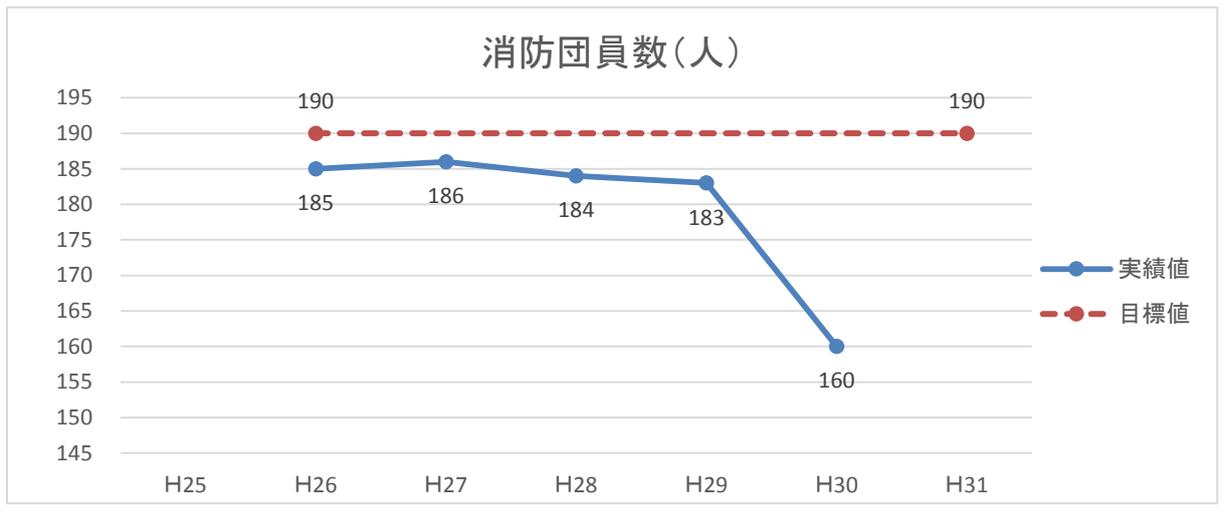
施策：安全で効率的な公共施設運営							総合戦略 P38
KPI：公共施設等総合管理計画の策定							担当課・班
H25	H26	H27	H28 目標	H29	H30	H31	総務課 防災総合対策班
-			策定				
※太線で囲んだ年度の数值は、目標設定時の現状値です。							
<p>公共施設等総合管理計画の策定</p>							

計画期間におけるこれまでの実施状況とこれからの方針

<p>【主な実施事項と成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共施設等総合管理計画を平成 28 年度末に策定しました。 ・施設ごとの具体的な取り組みをまとめた行動計画として「公共施設等総合管理計画推進プラン」を策定しました（H29）。
<p>【要因（目標の達成等を阻害している要因）や課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特にありません。
<p>【要因や課題を踏まえた具体的な取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この計画に基づき長期的な視点で公共施設等の更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行うことにより、財政負担を軽減・平準化し、施設の適正かつ効率的な運営を図っていきます。

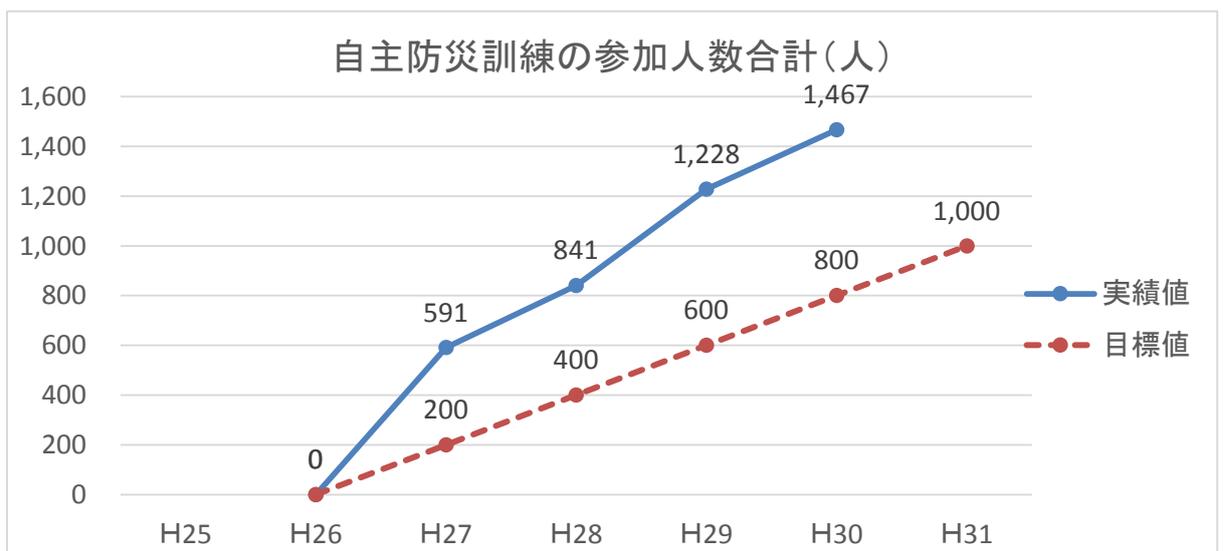
施策：消防団員の確保や自主防災組織の活動支援							総合戦略 P39	
KPI：消防団員数						(単位：人)	目標	担当課・班
H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	総務課 防災総合対策班	
-	185	186	184	183	160	190		

※太線で囲んだ年度の数值は、目標設定時の現状値です。



KPI：自主防災訓練の参加人数合計						(単位：人)	目標	担当課・班
H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	総務課 防災総合対策班	
-	0	591	841	1,228	1,467	1,000		

※太線で囲んだ年度は目標設定に向けた初年度で、各年度の数值はそれまでの累計です。

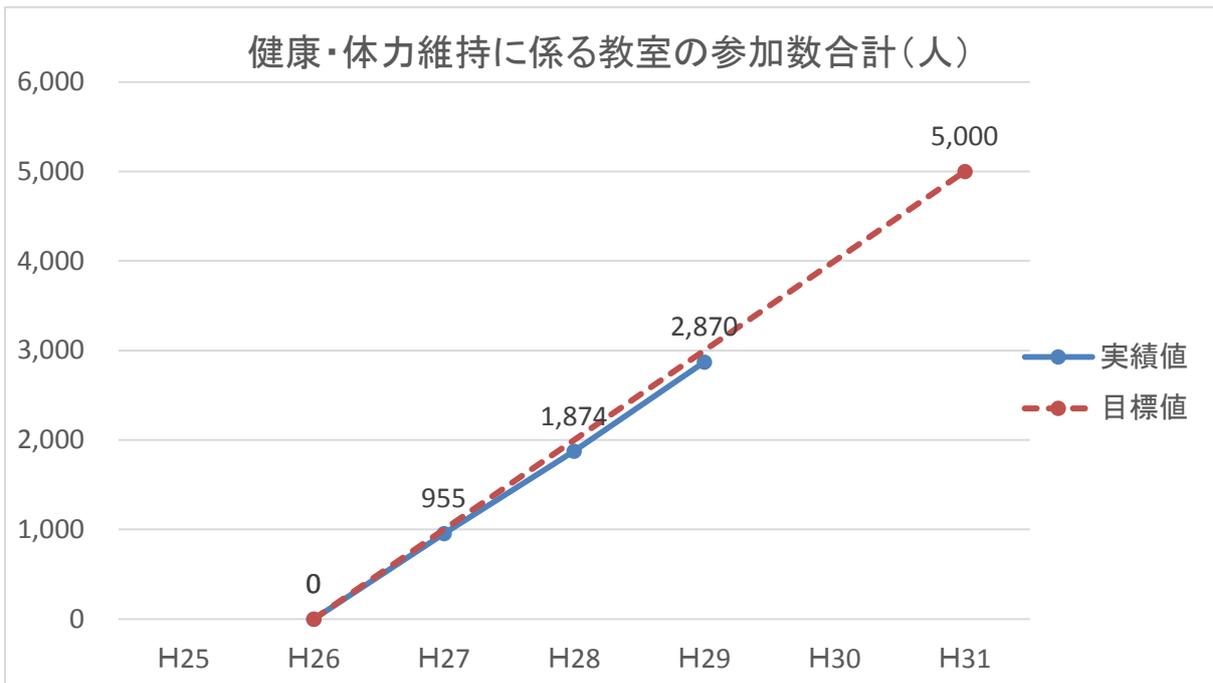


計画期間におけるこれまでの実施状況とこれからの方針

<p>【主な実施事項と成果】</p> <p>〔消防団員〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 消防団員の処遇改善（報酬の引上げ）を行いました（H27）。 ・ 消防団員の安全対策を（備品の強化）実施しました（H29）。 ・ 消防団フェスタを開催し、消防団活動の周知等に努めました。 <p>〔自主防災訓練〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 毎年、防災機関と町民が一体となって防災総合訓練を実施し、地域の防災意識の高揚を図ってきました。 ・ 平成 29 年度からは、事前に地域の実情と防災に関する課題を聞き、課題に合わせた訓練を実施しています。 ・ 各自主防災会を対象に防災に関する講演会を実施し、地域の防災意識の高揚を図りました。
<p>【要因（目標の達成等を阻害している要因）や課題】</p> <p>〔消防団員〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 団員のうち被雇用者の割合が高いこと（約 7 割）、少子化で対象年齢層（18 歳～47 歳）が少なくなっていることから、加入率が低くなってきていると感じています。 ・ 平成 29 年度の急激な減員は、退職となった年齢層の団員割合が大きかったためです。 <p>〔自主防災訓練〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ より多くの方が訓練に参加し、防災意識の高揚と維持を図る必要があると考えます。
<p>【要因や課題を踏まえた具体的な取り組み】</p> <p>〔消防団員〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 引き続き消防団の必要性を啓発し、町民の理解を得て団員確保に努めていきます。 <p>〔自主防災訓練〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 引き続き地域の実情に応じた防災訓練を実施し、防災意識の高揚を図っていきます。

施策：生涯学習の推進と環境整備						総合戦略 P40	
KPI：健康・体力維持に係る教室の参加数合計（単位：人）						目標	担当課・班
H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	教育課 社会教育班
-	0	955	1,874	2,870		5,000	

※太線で囲んだ年度は目標設定に向けた初年度で、各年度の数値はエアロビクス・アクアビクス教室の参加者の累計です。



計画期間におけるこれまでの実施状況とこれからの方針

【主な実施事項と成果】
<ul style="list-style-type: none"> ・一般成人の方を対象に、運動不足の解消や健康づくりを目的にエアロビクス・アクアビクス教室を開催しています。 ・平成 29 年度はプールを閉鎖していたため、アクアビクスは開催していません。
【要因（目標の達成等を阻害している要因）や課題】
<ul style="list-style-type: none"> ・平日の昼間に開催しているため、利用者は 60 歳以上の方がほとんどで、かつ固定されてきています。住民の健康増進を図るためには、利用者の裾野を広げることが必要と考えます。 ・上記の理由から講師の人材も不足しています。
【要因や課題を踏まえた具体的な取り組み】
<ul style="list-style-type: none"> ・土日の開催や開催日を増設など、利用者の増に向けた取り組みを検討していきます。